

古文文法 習熟度テスト③ 解答

名前

1 助動詞「る」「らる」

(1) 助動詞「る」「らる」の接続について、それぞれ説明しなさい。(各2点×2)

- ① 「る」は「四段・ナ行変格活用・ラ行変格活用」の未然形に接続する

② 「らる」は、「四段・ナ行変格活用・ラ行変格活用」以外の未然形に接続する

(2) 助動詞「る」「らる」の活用表を完成させなさい。(接続1点+活用表2点×2(計6点))

	接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
四段・ナ変・ラ変の未然形		る	れ	れ	る	るる	るれ	れよ
四段・ナ変・ラ変以外の未然形		らる	られ	られ	らる	らるる	らるれ	られよ

(3) 助動詞「る」「らる」の4つの意味と訳し方を、それぞれ答えなさい。また文中において4つの意味を見分けるための判断基準についてそれぞれの意味に当てはまる説明文を後の選択肢から選び記号で答えなさい。(各1点×12)

①意味	受身	訳し方	ゝれる・ゝられる	記号	D
②意味	可能	訳し方	ゝできる	記号	A
③意味	自発	訳し方	自然とゝされる	記号	B
④意味	尊敬	訳し方	ゝされる・おゝになる	記号	C

- A 「る」「らる」の後に打消の語句がある場合
- B 「知覚動詞」か、もしくは「心情動詞」の後に「る」「らる」が付いている場合
- C 主語が貴人である場合、もしくは他の判断基準が当てはまらない場合
- D 「ゝに」がある、もしくは「ゝに」が補える場合

(4) 助動詞「る」「らる」が「(ら)れ給ふ」という形で、後に尊敬語「給ふ」が続く場合の意味の判断の仕方を説明しなさい。(3点)

助動詞「る」「らる」が「(ら)れ給ふ」という形で扱われる場合は、基本的に「尊敬」の意味にはならず、「受身」か「自発」のどちらかの意味になることが多い。「受身」と「自発」のどちらの意味になるかは文脈を踏まえて判断する。

(5) 次の各文の傍線部①～⑧の意味を、受身はA、可能はB、自発はC、尊敬はDの記号で答えなさい。(各2点×8)

①今日は都のみぞ思ひや¹らる。

C

②かの大納言、いづれの船にか乗ら²るべき。

D

③知らぬ人の中にうち臥して、つゆまどろま³れず。

B

④舎人が、寝たる足を狐に食は⁴る。

A

⑤あるやむごとなき人仰せ⁵られき。

D

⑥眠らんとして寝ね⁶られず。

B

⑦人には木の端のやうに思はるるよ。⁷

C

⑧国の守にからめられ⁸にけり。

A

(6) 次の各文の空欄①～④に、助動詞「る」「らる」を適当な形に活用して入れなさい。(各2点×4)

①西の宮の左大臣流さ¹れ給ふ。

西の宮の左大臣さまが流されなさる。

②湯水ものどへ入れ²られず。

湯水ものどへ入れることができない。

③都のみぞ思ひやら³るる。

都のことばかりが自然に思われる。

④大將いとま申して、福原へこそ帰ら⁴れけれ。

大將(藤原実定)は別れのことばを申し上げて、福原へ帰りなされた。

2 「る」「れ」の識別

(1) 「る」と「れ」の識別に関して、識別対象になる3つの内容を答えなさい。(各1点×9)

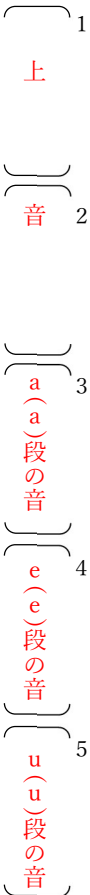
①「受身」^一、「尊敬」^一、「自発」^一、「可能」^一の助動詞「る」^一

②「完了」^一、「存続」^一の助動詞「り」^一

③「活用語」^一の一部

(2) 「る」「れ」の識別に関して、3つの識別対象の見分け方を説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×5)

「る」と「れ」を識別する際には、「る」と「れ」の(①)の(②)を確認する。「る」と「れ」の(①)の(②)が(③)であれば助動詞「る」、(④)であれば助動詞「り」、そして(⑤)であれば活用語の一部と判断する。



(3) 次の各文の傍線部①～⑨は、次のうちどれに当てはまるか、あとの選択肢から選びなさい。(各2点×9)

① 人をやりて見するに、おほかた逢へる者なし。

[E]

② 「瓶子倒れ候ひぬ」とぞ申されける。

[F] [D]

③ 抜かんとするに、おほかた抜かれず。

[B]

④ われ負けて人を喜ばしめむと思はば、さらに遊びの興なかるべし。

[G]

⑤ 女のはける足駄にて作れる笛には、秋の鹿必ず寄る。

[E] [E]

⑥ なきことにより、かく罪せられ給ふ。

[A]

⑦ 今日は京のみぞ思ひやらるる。

[C]

A	受身の助動詞(の一部)	B	可能的助動詞(の一部)
C	自発の助動詞(の一部)	D	尊敬の助動詞(の一部)
E	存続・完了の助動詞	F	動詞の一部
G	形容詞の一部	H	形容動詞の一部

3 助動詞「す」「さす」「しむ」

(1) 助動詞「す」「さす」「しむ」の接続について、それぞれ説明しなさい。(各2点×3)

「す」	「四段・ナ行変格活用・ラ行変格活用」の未然形に接続する。
「さす」	「四段・ナ行変格活用・ラ行変格活用」以外の未然形に接続する。
「しむ」	未然形に接続する

(2) 助動詞「す」「さす」「しむ」の活用表を完成させなさい。(接続1点+活用表2点×3)

	接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	四段・ナ変・ラ変の未然形	す	せ	せ	す	する	すれ	せよ
四段・ナ変・ラ変以外の未然形	さす	させ	させ	させ	さす	さする	さすれ	させよ
未然形	しむ	しめ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ	

(3) 助動詞「す」「さす」「しむ」には2つの意味がある。その意味と訳し方を、それぞれ答えなさい。(各1点×4)

①意味	使役	訳し方
②意味	尊敬	訳し方

(4)助動詞「す」「さす」「しむ」の2つの意味の見分け方について説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×6)

助動詞「す」「さす」「しむ」の下に「給ふ」「おはす」「らる」といった(①)がある場合には(②)または(③)の意味になり、(④)がない場合には(④)の意味になる。

また、「す」「さす」「しむ」の真下に(①)がある場合、(②)の意味になるか(③)の意味になるかは、文の(⑤)を確認することで判別することができる。文中に「人に」「人して」「人をやりて」といった内容がある場合には、(⑥)の意味で読み取る。

1	2	3	4	5	6
尊敬語	尊敬(または使役)	使役(または尊敬)	使役	使役の対象の有無	使役
[]	[]	[]	[]	[]	[]
				(上)	

(5)次の各文の空欄①～③に、「す」「さす」のどちらかを適当な形に活用させて入れなさい。(各2点×3)

①いとこまやかに有様問は¹ []¹ 給ふ。

(帝は)たいそうこまごまと様子をお尋ねになる。

②上も聞こし召し、めで² []² 給ふ。

帝もお聞きになり、お誉めになる。

③妻の嫗に預けて養は³ []³ 。

妻であるおばあさんに預けて(かぐや姫を)養わせる。

(6)次の各文の傍線部①～④の意味を使役はA、尊敬はBの記号で答えなさい。(各2点×4)

①月の都の人まうで来ば、捕らへ¹ させむ。

[A]

②上おはしますに御覧じて、いみじう驚か² せたまふ。

[B]

③ 供の者に手綱を持たせ給ふ。³

④ 君も臣も、大きに騒がせおはします。⁴

[A] [B]

4 「せ」の識別

(1) 「せ」の識別に関して、識別対象になる3つの内容を答えなさい。(各1点×8)

- ① 「使役」の助動詞「す」の〔未然〕形か〔連用〕形
② 「過去」の助動詞「き」の〔未然〕形
③ 「サ行変格活用」動詞「す」の〔未然〕形

(2) 「せ」の識別に関して、3つの識別対象の見分け方を説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×5)

「せ」の上が①(形、つまり②)の音の場合は、助動詞「す」の活用したものであると判断する。また、③()の形で用いられている場合には、助動詞「き」の活用したものと考える。

そして、④()と訳すことのできる「せ」に関しては、⑤(動詞の活用したものと判断する)。

1 未然
2 a 段
3 せばまし
4 する
5 サ行変格活用

(3) 次の各文の傍線部①～⑥の種類を、サ変動詞はA、過去の助動詞はB、使役・尊敬の助動詞「す」はC、使役・尊敬の助動詞「さす」の一部はD、サ行下二段動詞の語尾はEの記号で答えなさい。(各2点×6)

① 人をおきて、高き木にのぼせて、梢を切らせしに、
[E] [C]

②御格子上げさせ³て、御簾を高く上げたれば、笑はせ⁴給ふ。

[D]
[C]

③ふるさとの花のもの言ふ世なりせ⁵ばいかに昔のことを問はまし

[B]

④暁まで、門たたく音もせ⁶ず。

[A]

5 助動詞「む」「むず」

(1)助動詞「む」「むず」について説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×2)

助動詞「む」「むず」は、それぞれ(ん)、(んず)と表記される場合もある。

(2)助動詞「む」「むず」が接続する語句の活用形をそれぞれ答えなさい。(各2点×2)

「む」 未然形 「むず」 未然形

(3)助動詞「む」「むず」の活用表を完成させなさい。(接続1＋活用表2点×2)

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
未然形	む	○	○	む	む	め	○
未然形	むず	○	○	むず	むずる	むずれ	○

③文末の「む」の意味は、基本的に（①）する。その際、目安となるのが（②）である。（②）が一人称の場合、「む」は（③）の意味になることが多く、二人称なら（④）、三人称なら（⑤）の意味になることが多い。



④他に「む」の意味の見分け方としては、「と」の上の「む」は（①）が多く、「こそめ」、「てむ」の「む」、「なむ」の「む」は（②）の意味になることが多い。また（②）の意味になる「む」の主語は、必ず（③）になることも押さえておきたい。



(7) 次の各文の傍線部①～⑧の意味を、推量はA、意志はB、適当・勧誘はC、仮定はD、婉曲はEの記号で答えなさい。（各2点×8）

①いとをかしげなる猫なり。飼はむ。¹

[B]

②子といふものなくてありなむ。²

[C]

③少納言よ、香炉峰の雪いかならむ。³

[A]

④思はむ子を法師になしたらむこそ、心苦しけれ。⁴

[E]

[D]

⑤などかくは急ぎ給ふ。花を見てこそ帰り給はめ。⁵

[C]

⑥年五十になるまで上手に至らざらん芸をば捨つべきなり。⁷

[E]

⑦この獅子の立ちやういとめづらし。ふかき故あらん。⁸

[A]

6 「せ」の識別

(1)助動詞「じ」が接続する語句の活用形を答えなさい。(2点)

未然形

(2)助動詞「じ」の活用表を完成させなさい。(接続1点+活用表2点)

	接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
形		じ	○	○	じ	じ	じ	○

(3)助動詞「じ」には2つの意味がある。その意味と訳し方をそれぞれ答えなさい。(各1点×4)

①意味

打消推量

訳し方

しないだろう

②意味

打消意志

訳し方

しないつもりだ

(4)助動詞「じ」の2つの意味を文中で見分ける方法を説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×5)

助動詞「じ」の意味を判別するためには、(①)を確認することが必要になる。(①)が(②)であれば、「じ」は(③)の意味になり、一方(①)が(④)であれば(⑤)の意味になる。

主語 1
一人称 2
打消意志 3
一人称以外 4
打消推量 5

* 2と4が逆の場合、3と5も逆になる

(5) 次の各文の傍線部①～⑤の意味を、打消推量はA、打消意志はBの記号で答えなさい。(各2点×5)

①さらば御供には率て行かじ。¹

[B]

②月ばかりおもしろきものはあらじ。²

[A]

③人に思はれむばかりめでたきことはあらじ。³

[A]

④我行かじ。⁴

[B]

⑤雨降らじ。⁵

[A]

7

助動詞「らむ」「けむ」

(1) 助動詞「らむ」と「けむ」の接続について、それぞれ説明しなさい。(各2点×2)

①「らむ」 終止形もしくはラ行変格活用動詞の連体形に接続する

②「けむ」 連用形に接続する

[]

(2) 助動詞「らむ」「けむ」の活用表を完成させなさい。(接続1点+活用表2点×2)

接続	終止形もしくはラ変連体形						
	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
連用形	けむ	○	○	けむ	けむ	けめ	○
終止形もしくはラ変連体形	らむ	○	○	らむ	らむ	らめ	○

(3) 助動詞「らむ」と「けむ」には共通する主な意味が4つある。その意味と訳し方をそれぞれ答えなさい。(各1点×8)

①意味	推量		訳し方		②意味	原因推量		訳し方	
③意味	伝聞		訳し方	〜とかいう	④意味	婉曲		訳し方	〜のような

(4) 助動詞「らむ」「けむ」には共通する意味がある一方で違いもある。その違いとは何かについて説明した次の文章の空欄を埋めなさい。

(各1点×3)

「らむ」と「けむ」の違いは、(①)だ。「らむ」は(②)の(①)を表し、一方「けむ」は(③)の(①)を表す。

1	時制		2	現在		3	過去	

(5) 助動詞「らむ」「けむ」の意味を見分けるための手順を説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×6)

助動詞「らむ」「けむ」の意味の見分け方は「らむ」「けむ」の文中の位置で大別される。すなわち、「らむ」「けむ」が(①)にある場合には(②)と(③)の意味になり、一方「らむ」「けむ」が(④)にある場合は、(⑤)、(⑥)の意味になる。

1	文末		2	推量		3	原因推量		4	文中		5	伝聞		6	婉曲	

* 1と4が逆の場合、2・3・5・6も逆であれば正解

(6) 次の各文の空欄①～③に「けむ」「らむ」のどちらかを適当な活用形にして入れなさい。(各2点×3)

① 思す らむ こと何事ぞ。

お思いになっっているようなことはどんなことか。

②前の世の罪なり² けむ。

前世の(自分が犯した)罪であったのだろう。

③行平の中納言の、「関吹き越ゆる」と言ひ³ けむ 浦波,

行平の中納言が、「関を吹き越える」と詠んだとかいう海岸の波が,

(7)次の傍線部①～⑥の意味を現在推量はA, 過去推量はB, 原因・理由推量はC, 伝聞・婉曲はDの記号で答えなさい。(各2点×6)

①見渡せば山もと霞む水無瀬川夕べは秋となに思ひ¹けむ

C

②奥山に花咲くらむ²。

A

③なめきは、などかく言ふ³らむ、とかたはらいたし。

C

④古にあり⁴けむ鳥も、今はなし。

D

⑤いかにわびしき心地し⁵けむ。

B

⑥唐土に咲くらむ⁶花。

D